

令和6年度(令和5年度実績) 総合評価書 <施設名 旭ヶ丘児童センター>

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年 3月31日(5年間)
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表															
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)				分析、評価、指示等				得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。						-	
		(2)市事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	②利用人数	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	①乳幼児と保護者を対象とした事業(令和5年度内に合計58回開催、673名参加) [仕様書年間指定回数30回] ②児童を対象とした事業(令和5年度内に合計54回開催、534名参加) [仕様書指定回数年間6回] ③地域・多世代間交流事業(令和5年度内に合計4回開催、511名参加) [仕様書指定回数年間1回] ④中高生事業(令和5年度内に合計15回開催、62名参加) [仕様書指定回数年間3回] ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(令和5年度内に合計32回開催、273名参加)[仕様書規定回数14回]	仕様書以上 14点	・コロナ禍が明けて活動内容も以前のように利用者に制限を強いることなく行えるようになった。来館者数も増加傾向にあり、活動仕様の指定回数以上の活動を行うことができた。 ・地域・多世代間交流事業では、春まつりを発表の部、子どもスタッフ主体のお店屋さん、5館合同の子どもスタッフパネルクイズ等の3部構成で実施。参加家族や地域の方に喜んで頂き、子どもスタッフや小・中ボランティアの活躍の場となり、大変盛り上がりがあった。申し込み人数も今までにない数となった。 ・保健センターとコラボした「健康の花を咲かせよう」では、家族や友達と健康な夏休みが過ごせることを目標とし、ハンドペインティングして大きな木を描いた。また、お披露目会ではタバコクイズを行い、自身や家族の健康について考える機会となった。	14点						
(3)自主事業の企画・運営・実施 (15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点、 例年よりかなり劣る 2～0点	①乳幼児と保護者を対象とした事業(令和5年度内に合計58回開催、748名参加) ②児童を対象とした事業(令和5年度内に合計31回開催、457名参加) ③地域・多世代間交流事業(令和5年度内に合計48回開催 681名参加) ④中高生事業(令和5年度内に合計2回開催、17名参加) ⑤子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(令和5年度内に合計9回開催、42名参加)	期待以上 14点	・コロナ禍が明け、デイキャンプや食育事業など再開できた事業もあり、全体的に回数、参加者数も増加傾向となった。 ・今年度初、クリスマスコンサートを実施。児童館ならではの親子で気兼ねなく参加できる雰囲気もあって参加人数も多かった。アンケートも好評だった。 ・子育てネットワーク事業の「なないろひろば」の活動は、発達支援センターなかよしの職員の協力を得て行うことができた。活動内での親子の関わりや、活動後に気軽に育児の不安や悩みを相談できる場作り、子どもが不安なく遊べる環境作りを心がけ、子どもの成長を皆で喜び合うことができた。	14点								

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・定期清掃・日常清掃を行い、適正に環境整備を行った。 ・ジアイーノの機械を用いた館内の常時消毒。 ・砂場の消毒を行い衛生を保ち、利用者が安全に遊べるよう配慮した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
		②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。館庭整備の一部は委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④小規模修繕			①空調・室外機修繕(点検、修理)35,937円 ①については10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕を行い、利用者にとってより良い環境づくり及び、安全対策を行った。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応されている。	
		⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			・業者による安全点検を実施した。 ・毎月1回職員による安全点検で危険箇所を把握し、改善できる箇所は速やかに対応した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
	(2)その他管理 業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録に基づき管理した。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき管理されている。	10点
		②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙、裏紙、古封筒を活用した。 ・段ボールなどリサイクル資源は地域協、学校等の資源回収の際に処理した。 ・市役所や他の児童館等の連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えた。 ・冷房、暖房は適正な温度に設定し、環境に配慮した。 ・ゴーヤを植栽し、緑のカーテンを作り建物内における気温上昇の抑制に取り組んだ。 ・工作材料は、リサイクルや再利用を心がけ実施した。 ・日中の時間帯には利用者にも声をかけ節電を行った。節電対策の掲示を各部屋に行った。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③バリアフリー			・玄関の上り口に手すりを設置、車いすの利用者も入館できるよう取り外し可能なスロープを常備した。 ・障がい者スポーツの福祉体験を通し情操を養った。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④備品管理			・備品台帳に沿って適正に管理した。 ・備品を大切に扱うよう、掲示物を作り利用者に周知した。	適正(普通) 2点	・適正に管理されている。	
		⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規定」を制定し、適正に管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり:△1点	・骨折…小学生女児が、児童数名と職員とでキャッチボールをしていたところ、ボールを取る際に左手薬指に当たり、痛みを訴えた。患部を冷やし湿布を貼る応急処置を施した。後日、骨折と病院で診断され、児童から知らせを受けて保護者へ確認を取り保険の申請を行った。事故連絡、報告書の提出とともに滞りなく行った。	事故なし・対応に不備なし 0点	・社会福祉協議会内での事故報告は、本会の事故報告マニュアルに沿い報告書を作成、提出し、全職員に周知し情報を共有する仕組みが構築されている。また、児童館に於いての事故は代表者会議で詳細を説明し、事故防止につなげるよう規定されている。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支		施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入11,973,780円÷支出12,112,621円≒99% 収入14,270,814円÷支出13,869,352円≒103% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)			

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映 15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・アンケートボックスを設置し、随時意見を受け入れるとともに、クラブや行事後にアンケートを実施した。アンケート以外にも、利用者の声を聴き、事業に取り入れられるものは取り入れ、より参加者が楽しめるように配慮した。 ・新規遊具物品購入の際は、保護者、児童、生徒に希望調査を行い、実用性が高い遊具、書籍を購入した。	期待以上 13点	・耐用年数以上使用した玩具等を買替える際、慣例に従い同様の物品を買替えるのではなく、来館者に必要物品の調査を行い、より実用性の高い玩具等を購入した。一定層の意見だけを反映するのではなく、幼児、小学生、中学生等幅広い層の意見をもとに、全世代に共通する物品、各世代における特有の物品(幼児向け玩具・中学生向けスポーツ用品)等、可能な限り意見を汲み取り、物品を充実させた。	13点
		②苦情対応 5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情なし	期待以上・苦情なし 5点	・社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対処している。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	①学校、地域、市の相談員、保健センター等へ適宜協力を依頼し、地域全体での見守りと子育て支援を行った。小中学校の教員とは毎月1回以上意見交換を行った。 ②定期的な体力チャレンジ番付を行い、体力増進に繋がる取り組みを行った。 ③子育て支援の事業や研修会、会議を行った。 (たじみ健康ハッピープラン子重トレーニング研修、AED研修、産後ケア・バランスボール研修) ④子ども達が企画、準備、運営を行う行事を実施した。 ⑤来館児童とともに、館庭の整備・周辺地域の清掃を行った。 ⑥社会福祉協議会の特性を活かした事業を実施した。 ⑦地域住民の才能を活用し、様々な事業を実施した。 ⑧児童館相互の連携事業として、市内の親子が参加できる合同事業を実施した。	期待以上 13点	・児童センターでの様子、小中学校での子ども達の様子など情報を共有し、支援が必要な児童、生徒に対しての対応方法を統一した。 ・体力の維持向上を目的に行っているチャレンジ番付は、挑戦時に参加者の記録が見えるような形でより競争心をもち、楽しみつつ活動ができるように工夫した結果、挑戦意欲を高め、参加増加に繋がった。 ・運動能力向上にも積極的に取り組んだ。乳幼児親子では、産後ケア推奨のバランスボール、ストレッチ、親子ダンスなどを毎月行い、継続参加に繋がった。 ・中学生ボランティアの要望からクリスマス会を開いた。学校以外で同じクラスではない友達と楽しい時間を過ごせて思い出作りになったと好評だった。 ・館庭の除草作業や通学路のごみ拾いなど、来館児童らとともに実施した。 ・福祉体験を通して、車いす体験や福祉車両に乗車など、児童が貴重な経験をすることができた。 ・がさがさ探検では、町づくり市民会議と土岐川観察館と連携を図り活動を行った。 ・児童センター春祭りにて、児童館5館合同子どもスタッフパネルクイズを実施。自主的に活動を行い、来館者にとても喜ばれた。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施されている。	0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・乳幼児、児童とも活発な取組みを展開し、母親クラブや地元の学校や地域組織とも連携を密にしながら、法人内のネットワークも最大限生かし積極的に事業を実施することができた。	極めて良好 89点